

行政報告

(令和3年第1回定例会【2月】提出)

安芸太田町

1 消防団活動について【総務課危機管理室】

消防団では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、期間・時間の短縮と人数の制限をし、最小規模で12月28日から2日間、年末特別警戒を実施しました。今回は、新しい取り組みとして、日中に女性消防団員を中心に広報活動を行い、消防車両で町内全域を巡回しながら火の取り扱いや感染症対策について注意喚起を行いました。なお、年始の恒例行事「消防団出初式」は、感染症拡大防止のため中止といたしました。

また、このたび県内の消防団では初の取り組みとして、団長をはじめとする幹部団員有志のご厚志により、消防団でドローンを保有することとなりました。今後の消防活動や災害対応における作業の効率化、迅速化等に役立つものと考えております。

2 町内「定額タクシー」の利用状況について【企画課】

10月から運行している「定額タクシー」の登録者数は、1月末現在589名となりました。その内、実際に利用された方は、348名で58%の利用率となっています。延べ運行回数は2,848件、相乗りを含めた利用人数は3,512人です。

この定額タクシーの実証運行は、予想以上に多くの皆様にご利用いただいたため、2月末をもって一旦終了します。利用者からは概ね好評をいただいているところではありますが、利用時間帯が集中し、ご要望に十分対応できなかった等課題も明らかになっておりますので、今後は、運行期間の利用状況データを分析しながら、公共交通全体の再編と併せて制度化に向けて検討します。

3 加計高校生徒寮（人材育成・交流センター（仮））の整備について【企画課】

来年度も町外の多くの生徒が加計高校に入学する予定ですが、既存の寮は収容人員に限界がありました。そこで居住機能を充実するとともに、地域との交流や国際交流等を促進するための機能を併せ持つ施設（加計高校生徒寮（人材育成・交流センター（仮）））の整備を補正予算で認めていただいております。

以降、役場内でも幾つかのプランを比較検討した結果、令和4年度からの供用開始を目指し、加計体育館前のイベント広場において新築による整備をすすめることで予算案を提出いたしております。ご審議をよろしくお願いいたします。

4 空き家バンク登録促進奨励助成事業の実施状況について【地域づくり課】

昨年の11月から空き家の適正な管理及び利活用の促進を図るための実証事業として、空き家バンク登録物件の所有者に登録奨励金を交付する事業に取り組んでいます。まずは状態が良いと思われる空き家の所有者等に中心に、家屋の使用状況や将来の利活用のアンケート調査を行い、併せて助成事業活用の働きかけを行うとともに、空き家所有者全員にも助成事業の案内を行ってまいりましたが、2月15日現在、交付実績は1件に留まっております。

登録が進まない理由について、今回のアンケート調査の結果、管理状態の良い空き家の多くは休暇時や農作業時等に一時的に使用されている、あるいは倉庫として常時使用されているということで、所有者は必ずしも手放したくはない実態も明らかになってまいりました。

今後、コロナ禍による地方志向もある中で、特に年度末前後は空き家バンクへの相談件数も多くなる傾向も踏まえ、引き続き粘り強く、登録物件の増加に努めてまいります。

5 町税の新型コロナウイルス感染症対策について【税務課】

徴収の猶予制度の特例について、12月定例会以降も引き続き対応しているところですが、新たに1件の申請があり、5月からの累計で8件391,200円許可しています。

今後も、引き続き納税者の状況に応じて対応いたします。

6 ふるさと納税の推進について【企画課・税務課】

令和2年度においては、新型コロナウイルスによる在宅需要により、寄附金額は目標の1億円を突破し、1月末時点で寄附件数7,804件、寄附金額1億159万円となっています。本年度はふるさと納税サイトとして「さとふる」・「ふるさとチョイス」に加えて「楽天ふるさと納税」を新規に登録しましたが、納税の構成は「さとふる」が56%、「ふるさとチョイス」が22%、「楽天ふるさと納税」が19%、直接払いが3%となっています。

残り一カ月、さらなる上積みに取り組むとともに、令和3年度は1億5千万円の寄付を目標とし、達成にむけて万全の態勢で推進していきます。なお1月末現在の「ふるさと納税」各種指標は以下のとおりです。

① 令和2年度ふるさと納税額等（令和3年1月末現在）（単位：件・円）

年 度	件数	令和2年度（1月末）	令和元年度	備 考
R2年度	42	2,795,000	2,767,000	直接寄附
	7,762	98,792,000	57,858,000	さとふる ふるさとチョイス 楽天（R2年5月～）
合計	7,804	101,587,000	60,625,000	

② 令和2年度お礼品の状況（上位10位まで）（令和3年1月末現在）

No.	お礼品名	出荷数	取扱い事業者
1	鯛焼き	3,246	鯛焼屋よしお（内10個入り2,768件）
2	海苔	1,341	（株）三國屋
3	戸河内ウイスキー	1,011	地域商社あきおおた（8年、セット含む）
4	見浦牛	700	見浦ミートセンター
5	ヒノキまな板	288	太田川森林組合ぬくい工芸センター
6	コシヒカリ・ヒノヒカリ 食べ比べ	237	百姓屋（定期便含む）
7	杵つき餅セット	207	つなみ和の里生産組合
8	ほうれん草	114	穴ファームOKI
9	ままごとキッチン等	110	メーベルヒナナ
10	新鮮朝採れいちご	74	百姓屋

③ 新規事業者

No.	お礼品名	取扱い事業者
1	オリジナル麦酒セット	安芸乃国酒造
2	安芸太田町史	安芸太田町役場

7 風力発電事業対応チームの設置について【住民生活課】

(仮称) 広島西ウインドファーム事業について、町としての対応を適切に行うことを目的に、関係課で構成するプロジェクトチームを庁内に設置し、第1回目の会議を1月19日に開催するとともに、2月19日には浜田市金城町の風力発電施設の視察を行いました。

12月以降、事業者は町内5か所で説明会を行うとともに、1月26日から2月25日にかけては環境影響評価プロセスの方法書の縦覧を実施され、併せて法定の説明会も町内3か所で実施されたところです。町としても、情報収集等を独自に行いながら、適切な対応を進めてまいります。

8 国民健康保険税率の改定について【住民生活課・税務課】

令和3年度の国民健康保険税率について、2月10日に国民健康保険運営協議会に諮問し、慎重審議を経て、諮問どおり実施するよう答申をいただきました。この答申に基づき、本定例会に関連する条例改正案を提出させていただいておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

9 可燃ごみ処理委託について【衛生対策室】

本町における可燃ごみは、広島市に処分を委託しているところであり、ごみ処理施設「安佐南工場」に持ち込んでおりましたが、1月7日に同施設内で発生した火災により、広島市からは、当分の間受け入れは困難との連絡がありました。

このため、受け入れの再開が見込めるまでは北広島町の芸北広域環境施設組合の芸北きれいセンターに処理委託をお願いすることとし、2月から搬入しております。

10 がんばるビジネス応援補助金事業について【商工観光課】

がんばるビジネス応援補助金については、今年度は8件の応募がありました。今年度は審査の透明性・専門性を高めるために、審査会に新たに外部の委員に加わっていただき審査を行った結果、新分野進出事業2件、起業家支援事業1件を採択し、補助金総額4,006千円を交付決定しました。

本年度の各事業別の交付決定実績は下記のとおりです。

区分	件数	金額
新分野進出事業	2件	2,070千円
起業家支援事業	1件	1,936千円
事業継承支援事業	0件	0千円
合計	3件	4,006千円

11 雪山誘客促進事業について【商工観光課・地域商社あきおおた】

恐羅漢スキー場や当町への誘客を図るため、1月23日から1月31日まで、コロナ対策を十分行いながら、恐羅漢スノーパークにおいて「雪フェス2021 in おそらかん」と称して、安田女子大学書道部による作品展示、氷の彫刻作成パフォーマンス、イグルー作り・雪の折鶴作り体験コーナーなどを実施し、延べ150人が参加されました。

12 国土交通省主催のサウンディング調査について【商工観光課】

1月20日に国土交通省が主催する公的不動産等のサウンディング（民官対話）調査に、中国地方からは本町を含む10市町が参加しました。本町は温井レストラン及びダム周辺施設の利活用について、Web会議方式で4社から提案や意見を伺いました。

レストランのみでの運営は厳しいという意見もありましたが、温井ダム周辺施設と一体的な利活用によって、新たな可能性があるとの意見をいただきました。

現在、次年度からの施設利用再開に向けて、利活用計画や施設賃貸借等も含めた具体的な運営方法について協議を進めているところであり、関連する条例改正案を提出させていただいておりますので、ご審議のほどお願いいたします。

13 頑張る飲食店応援金制度について【商工観光課】

新型コロナウイルス感染症拡大への対応が長期化することにより、広島県においては、本町も含めて、集中対策の対象となっていない地域においても、経済的な影響が出てきています。

そこで、県と市町が連携をして、2月8日より、広島市内以外で売上が減少した飲食店等に対し、1店舗あたり30万円を交付する「頑張る飲食店応援金制度」を進めることとなりました。

安芸太田町としては、本町事業者への補助金の3分の1を負担することとしています。

14 安芸太田町アダプト活動支援事業について【建設課】

4年目となる「安芸太田町版アダプト制度」の活動には、今年度新たに1団体加入いただき全体で13団体の皆様に取り組んでいただきました。

参加団体には、町管理の道路・河川において美化活動に取り組んでいただき、良好な生活環境の創出や環境美化意識の高揚、地域コミュニティの活性化が図れたものと考えています。

今後も制度の啓発を行い、参加団体の拡充に取り組んでいきます。

15 大雪への対応について【建設課】

1月上旬、本町は大雪に見舞われました。一部停電や倒木はあったものの、大きな事故等はなく、町内各地で除雪対応に追われました。除雪日数については、現時点で昨年の実績を超えており、委託費についても大幅な増額となる見込みです。

また、同じく大雪による気温低下に伴い水道管の凍結・漏水などにより、一部の地区では断水となりました。その後速やかに漏水調査を実施し、箇所の特定制及び修繕工事を行いました。現在は町内の水道施設は全て復旧し安定供給を行っています。

16 広島県道路整備計画等について【建設課】

広島県道路整備計画等については、今年度が更新時期にあたり、道路、河川、砂防、急傾斜事業等について、次期5ヶ年計画に本町の要望を盛り込むべく、新規事業も含めて県に対して働きかけを行ってまいりました。

結果、主な実施予定箇所としては、道路事業は国道 191 号松原地区および県道弁財天加計線の事業計画に加えて、新たに県道澄合豊平線修道地区の道路改良、国道 186 号天神原地区の歩道設置が加わったほか、河川事業として筒賀川、丁川、西宗川の護岸改修、砂防事業として井仁口川、急傾斜事業として明ヶ谷穂坪地区が加わりました。今後は事業への早期着手並びに予算確保のため、引き続き関係機関へ働きかけを行います。

17 予防接種の実施について【健康づくり課】

本年度も疾病予防対策として、乳幼児や小児を対象とした結核や麻疹、風疹など 9 種類の法定接種を実施するとともに、インフルエンザや高齢者肺炎球菌など各種予防接種の助成事業を実施しました。また、昭和 37 年から昭和 54 年生まれの方を対象とした風疹の抗体検査と予防接種も実施しました。

現在、インフルエンザの予防接種については、高齢者が延べ 2,049 人、中学生以下が延べ 359 人、併せて 2,408 人が接種を受けています（前年度：2,290 人、前年度比：5.2%の増）。

18 あきおおた地域応援ウォークについて【健康づくり課】

活動量計（リストバンド型）などを活用して歩く習慣を身に付けてもらうことをめざし、平成 30 年度から始めた「あきおおた地域応援ウォーキング事業」が本年度で終了となりました。

本年度の参加者数は 200 人で、半年の期間中に、1 日 6,000 歩以上を達成した日が 100 日以上になることを目標に取り組んでいただいた結果、目標日数 20,000 人・日（200 人×100 日）に対して 15,140 人・日という結果となりました（達成率 75.7%）。

目標は達成できませんでしたが、コロナ禍という厳しい条件下だったこともあり、2 月 17 日に町内 6 校の小・中学校に対し、町 P T A 連合会を通じて図書券を進呈しました。

また、働き盛り世代の健康意識を高めるというもう一つの目標に対しても、全参加者 200 人中、30 代から 50 代の参加が 118 人と約 6 割近くを占め、昨年度に続き、一定の効果はあったものと考えています。

19 第 8 期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画の策定について【福祉課】

本町においては令和 3 年 1 月末現在で高齢者割合が 51.0%となり、20 年後には 57.3%に増加する見込みですが、高齢者が引き続き住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるよう、現在、第 8 期（令和 3 年度～令和 5 年度）介護保険事業計画を策定中です。

同計画では、社会構造の変化に加え、感染症への対応や介護人材の確保・業務の改善といった新たな課題に対応するとともに、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応していく包括的な支援体制を構築し、地域共生社会の実現に取り組むことを盛り込む予定です。

また、第 8 期の介護保険料は、第 7 期と比べて県平均で 0.35%上昇すると見込まれています。こうした動きも踏まえ、本町においても中長期的な人口構造やサービス需要を見据えながら次年度以降の保険料を算定し、不公平感の解消と応益性を高めるとともに、介護保険事業運営の安定化に努めます。

20 第6期障害者計画・障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画の策定について【福祉課】

本町においては第5期障害者計画等が本年度末で終了することから、現在、次期計画を策定中です。

本計画においては、本町の障がい者施策及び自立支援制度を円滑かつ柔軟に進めていくために、「障がい者等の自己決定の尊重と意思決定の支援」・「地域共生社会の実現に向けた取組」・「地域生活支援拠点の整備」・「事業者間連携体制の構築及び強化」などを重点的に取り組むよう、盛り込む予定としております。

21 学校教育活動について【学校教育課】

12月16日～17日、コロナ禍により延期した町内小学校修学旅行は、旅行先を関西方面から山口方面に変更して実施しました。新型コロナウイルス感染症対策を充分に行いながら、小学校生活最後の思い出づくりとなりました。また、同じくコロナ禍で実施を延期している町内中学校修学旅行については、3月に実施を予定しております。

2月8日、文部科学省委託事業「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」における実証研究委員会をWeb会議で開催しました。委員の方からは、安芸太田町の長年の継続した取組の評価と今後の活用推進について助言をいただきました。

2月22日、安芸太田町幼保小連携教育推進協議会を開催しました。県の委託事業の最終年となる今年度のまとめを学校及び幼稚園・保育所・認定こども園の担当職員と行いました。また、オンラインで遠隔交流し新たな取組みが生まれた年となりました。就学前教育から学校教育へのつながりを次年度も継続してまいります。

22 人権フェスタについて【生涯学習課】

12月19日、人権週間・障害者週間と合わせ「人権フェスタ」を戸河内ふれあいセンターで開催しました。フリーアナウンサーの久保田夏菜さんによる「これがわたしの使命だから」と題する講演会を実施するとともに、会場では町内小学6年生の人権標語の展示を行いました。コロナ感染防止のため参加制限での開催になりましたが、町内外から約50人の参加がありました。

23 安芸太田町病院事業新経営改革プランの策定について【病院事業】

安芸太田町病院事業新経営改革プランの策定に向けて、1月18日に第2回の委員会を開催しました。この日は経営改善の観点から病床機能の変更について説明を行い、各委員から意見を頂きました。病床の一部を介護施設へ転換する事については引き続き検討を進めながら、転換の可能性がありますので、次期介護保険事業計画にはその方針を盛り込むことが委員会で承認されました。

また、住民アンケート調査の実施についても提案しました。病院としては初めての試みであり、病院の利用実態や町民の受け止めなどについて、WEB入力とアンケート用紙に記入する2通りの方式で3月に実施する予定です。町民の皆様のご意見を反映し、一層利用しやすい病院を目指し、改革プランの策定に向けて作業を進めて参ります。

24 新型コロナウイルス感染症対策について【安芸太田町新型コロナウイルス対策本部】

新型コロナウイルス感染症の国内の感染者数は1月末現在で384,582人、死亡者は5,652人にのぼっており、政府も10都府県に緊急事態宣言を発令し拡大防止に全力をあげているところです。

広島県内では、特に昨年12月から感染が拡大傾向を見せたため、三次に渡って集中対策が行われてきたところですが、それらの対策により感染者数は大幅に減少したため、2月21日をもって集中対策は終了いたしました。

本町では、昨年の2月4日に新型コロナウイルス対策本部を設置し、以来これまでに計20回の対策会議を行い、町民への感染防止対策の注意喚起を行うほか、町内体育館等の町外者利用の自粛要請、役場への入室制限、役場職員の健康管理、集会施設等への消毒液やマスクの配布等対策を行ってまいりました。

そうした中、昨年12月17日には、町内で最初の新型コロナウイルス感染症の患者が確認され、直ちに対策会議を開催して対応方法を協議するとともに、私からも直接町民へのメッセージを発信するなどの対応を行いました。

それ以降、年末年始を挟み合計9例の感染症患者が確認され、町としても年始の恒例行事であった成人式は夏に延期するとともに、消防団出初式と立志式は中止となりました。

2月5日以降、本町において感染者は確認されておらず、県が集中対策を終了されたことにともない、町内公共施設の利用規制等は解除いたしましたが、引き続き国や県と連携を取りながら必要な対応は継続するとともに、新年度以降実施予定とされている町民へのワクチン接種の円滑な実施に向けて鋭意準備を進めてまいります。